

## 消化酵素剤

## ※※ ジアスターゼ「ヨシダ」

日本標準商品分類番号

872331

貯法：気密容器に入れ、30℃  
以下で保存  
 使用期限：ラベルに記載

日本薬局方  
 ジアスターゼ  
 Diastase

承認番号	(61AM)2726
薬価収載	1965年3月
販売開始	1965年3月
再評価結果	1983年4月

## 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

## 【組成・性状】

## 1. 組成

本剤 1g 中、日局ジアスターゼ 1g を含む。

## 2. 製剤の性状

本剤は淡黄色～淡褐色の粉末である。

本剤は吸湿性である。

## 【効能・効果】

主として炭水化物の消化異常症状の改善

## 【用法・用量】

ジアスターゼとして、通常成人 1 回 0.3～0.5g を 1 日 3 回食後に  
 経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

## 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を  
 実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過敏症	発疹等

注) 症状があらわれた場合には、投与を中止すること。

## 【薬効薬理】

ジアスターゼはデンプンを分解する酵素アミラーゼの俗称であるが、本薬は麦芽を原料とする植物アミラーゼに属し、 $\alpha$ 、 $\beta$  の  
 両アミラーゼがあり、両者共にデンプンに作用する。麦芽ア  
 ミラーゼの至適 pH は弱酸性 (pH4.5～5.5) であり、強酸、強  
 アルカリで失活する。従って、本薬を消化薬として用いる場合  
 には、食物が胃液と混合する前に作用させる必要がある。

## 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ジアスターゼ

本質：主として麦芽から製したもので、でんぷん消化力があ  
 る酵素剤である。

## 【包装】

500g

## 【主要文献】

1) 日本公定書協会：第15改正 日本薬局方解説書 D-1558  
 広川書店 (2006)

## 【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部

〒164-0011 東京都中野区中央 5-1-10

TEL 03-3381-2004

FAX 03-3381-7728

※



製造販売元  
**吉田製薬株式会社**  
 埼玉県狭山市南入曽 951